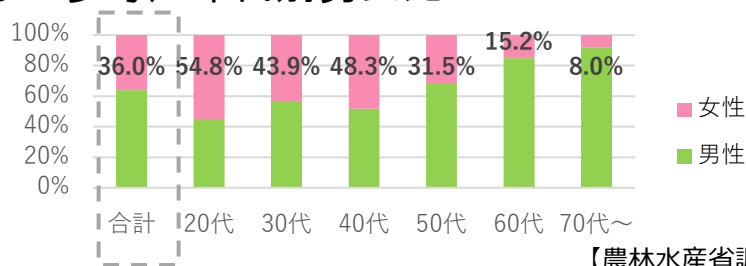


- ・ 獣医師の活動分野は広く、小動物診療分野（ペット）、産業動物分野（家畜）、人の公衆衛生分野と多岐にわたる。
- ・ 産業動物分野には①産業動物の診療獣医師と②農林水産分野の公務員獣医師が存在。

○ 分野別獣医師の数 (単位：人)

		令和4年	割合 (%)
活動獣医師	産業動物診療	4,460	11.0
	公 農林水産分野	3,311	8.2
	務 公衆衛生分野	5,378	13.3
	員 その他	456	1.1
	小動物診療	16,541	40.9
	その他の分野	5,955	14.7
	小 計	36,101	89.2
	獣医事に従事しない者 (無職含む)	4,354	10.8
	合 計	40,455	100

○ 参考) 年代別男女比



① 産業動物獣医師 (約 2 割)

1) 産業動物診療獣医師

家畜の診療に従事



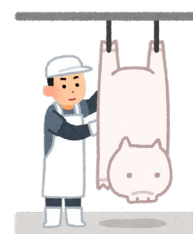
2) 農林水産分野公務員獣医師

公務員として家畜伝染病の予防やまん延防止に従事



② 公衆衛生分野公務員獣医師

公務員としてと畜場の食肉検査等に従事



③ その他分野の公務員獣医師

公務員として動物の愛護・管理等に従事

④ 小動物診療

犬、猫等のペットの診療に従事

参考) 愛玩動物看護師 20,648人 (R6.4.1時点)

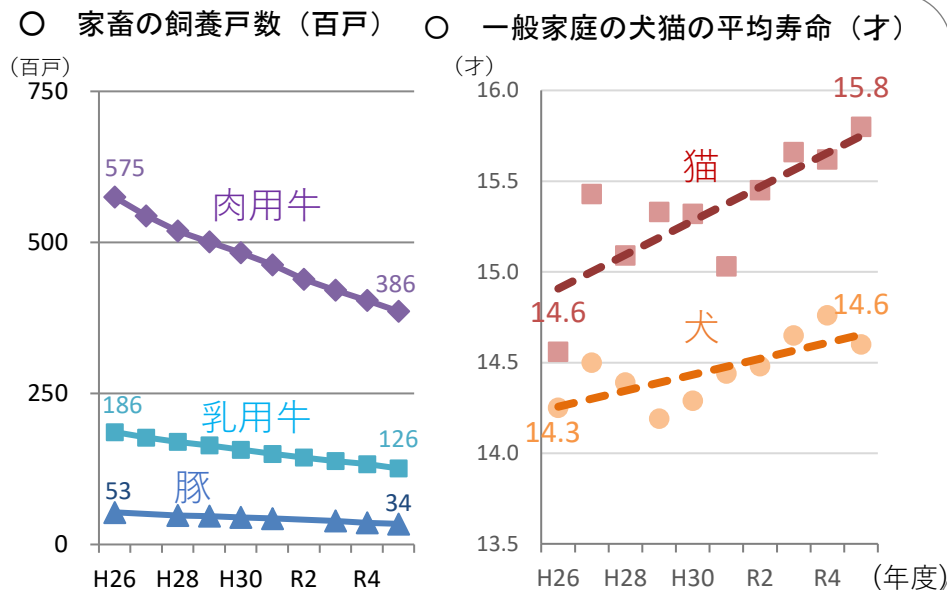
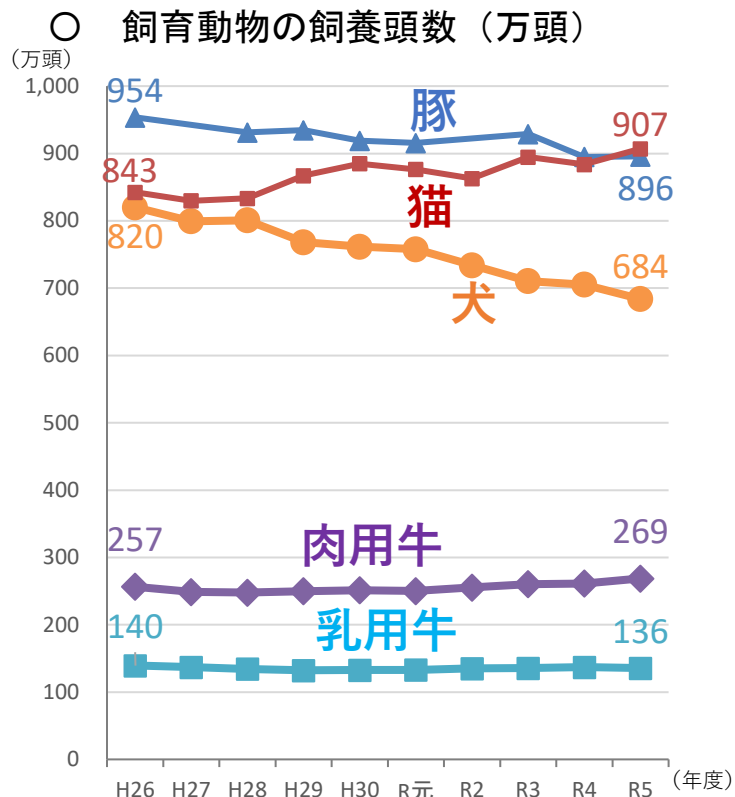


⑤ その他の分野

大学の教員、動物用・人体用医薬品の開発、海外技術協力などに従事

獣医療の対象となる動物や飼養者の状況

- ・ 家畜の頭数は横ばいか微減傾向だが、農家戸数は減少し大規模化が進展。
一般診療だけでなく衛生管理指導など獣医療へのニーズも変化。
 - ・ 犬猫の頭数は減少傾向か横ばいだが、平均寿命が延長、動物や飼養者の高齢化に伴いニーズが変化。
- ⇒ 家畜の遠隔診療や管理獣医療、高度獣医療に関する研修等を支援。



【犬・猫の飼養頭数・平均寿命：ペットフード協会調べ】※令和3年度調査において推計方法を改定（改定した推計方法により平成25年度以降の推計頭数を再計算）

【家畜の飼養頭数・飼育戸数：農林水産省調べ】※各年2月1日。牛の飼養戸数において令和2年から統計手法が変更されている。平成27年及び令和2年は世界農林業センサスの調査年であるため豚に比較できるデータがない。

獣医師の技術向上などへの支援

- 情報通信機器を用いた診療の試行的な導入などを支援。
- 産業動物分野における管理獣医師育成のための長期研修等、現場で必要とされている知識・技術向上のための卒後研修等の支援。

産業動物獣医師の現状

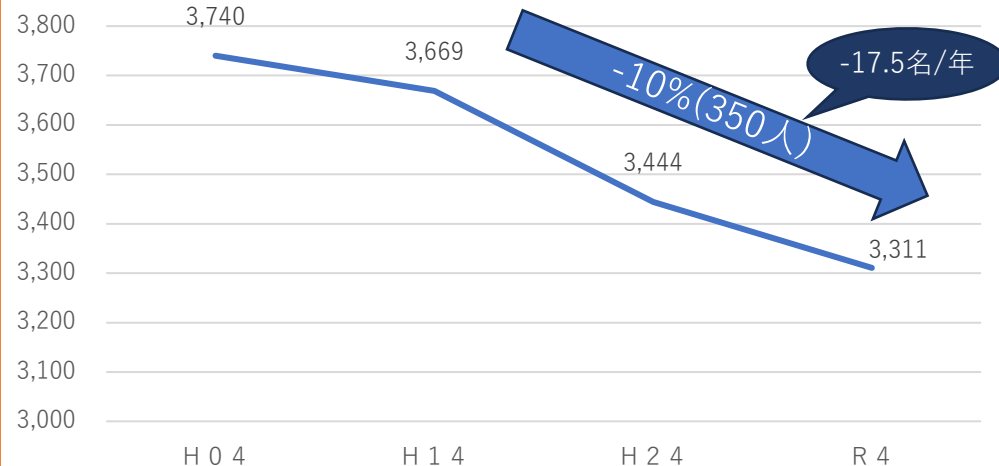
○ 分野別獣医師の数 (単位：人)

	令和4年	割合 (%)
活動獣医師		
産業動物診療	4,460	11.0
公 農林水産分野	3,311	8.2
務 公衆衛生分野	5,378	13.3
員 その他	456	1.1
小動物診療	16,541	40.9
その他の分野	5,955	14.7
小 計	36,101	89.2
獣医事に従事しない者 (無職含む)	4,354	10.8
合 計	40,455	100

【農林水産省調べ】
令和4年12月末時点届出結果

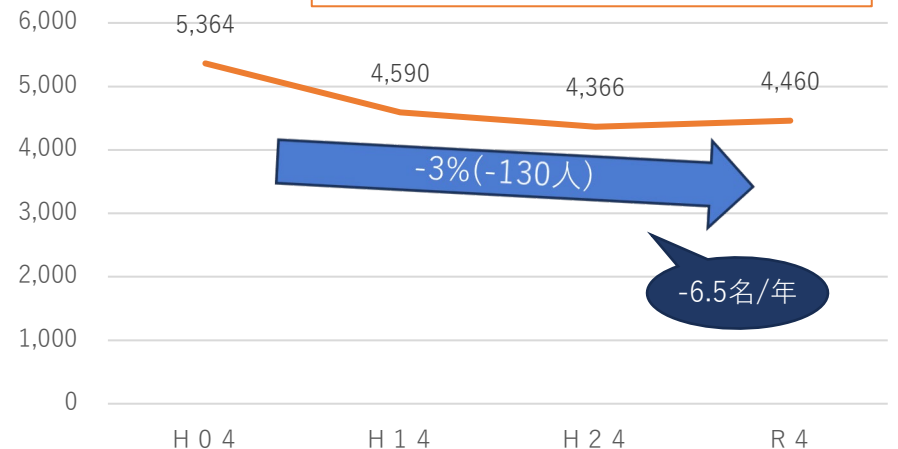
- 産業動物獣医師は約 2 割
- 小動物診療獣医師は約 4 割

家畜衛生公務員数



家畜衛生公務員の数はこちら20年で10%減少

産業動物臨床獣医師



20年で3%減少し、臨床獣医師が不足する地域も発生

産業動物獣医療提供体制整備のための取組(全体像)

I. 確保対策

II. 就業後対策

各種ステージ

関心なし

若干の関心あり

産業動物獣医師としての就業を検討

産業動物獣医師としての就業を決定

小・中・高校生（保護者）

大学生

国家試験

就業後

認知の向上に向けた職業紹介

大学における
産業動物分野教育の充実
のための取組

インターンシップの
内容充実

修学資金の給付

再就職・
転職支援

処遇改善

卒後研修

遠隔診療の導入

獣医療提供体制の強化が
必要な地域への対応
(県計画の中間評価)

産業動物獣医師として定着

産業動物獣医師の育成・確保等対策

令和6年度予算：250百万円(240百万円)、令和5年度補正予算：28百万円

産業動物獣医師への就業を誘導する支援

- 1 産業動物獣医師への就業を志す、獣医学生※¹や地域枠入学者※²に修学資金を給付する地域への支援。修学資金は一定期間※³を産業動物獣医師として就業予定先で勤務することを条件とする。

※1 私立学生月額18万円（上限）・国公立学生月額10万円（上限）を給付

※2 獣医系大学が設定する、地域の産業動物獣医師に従事する意思を持った生徒の選抜枠により入学を許可された者
地域枠入学者には、大学入学時に納付する費用及び月額18万円（上限）を給付

※3 給付月額が5万円以下の場合は給付期間の5/4の期間（6年の場合7年6か月）、5万円を超え12万円以下の場合は給付期間の3/2の期間（6年の場合9年）、12万円を超える場合は給付期間の5/3の期間（6年の場合10年）

- 2 獣医学生への産業動物診療や家畜衛生行政についての臨床実習等の実施を支援。

獣医師の技術向上などへの支援

- 1 情報通信機器を用いた診療の試行的な導入などを支援。
- 2 産業動物分野における管理獣医師育成のための長期研修等、現場で必要とされている知識・技術向上のための卒後研修等の支援。
- 3 女性獣医師などの職場復帰・再就職・中途採用に向けたリスキリングのための研修及び雇用者などの理解醸成のための講習等を支援（獣医師及び雇用者等対象）。

産業動物獣医療提供体制整備に向けた取組

令和6年10月
農林水産省
消費・安全局

産業動物分野の獣医師確保が急務であるため、獣医系大学、各都道府県、関係団体と連携して、①獣医学生の産業動物分野への関心を高め、希望する獣医学生を増やすとともに、②産業動物分野の獣医師の働く環境や処遇の改善などに取り組むことにより、産業動物分野の獣医師の実質的な確保を進める。

I. 確保対策

① 若年層・獣医学生の産業動物分野への関心を高める取組

- そもそも産業動物獣医師になりたいと考えて獣医系大学を志す者を増やすため、小中高生向けの獣医師職域紹介の講座・イベントを実施
- 全ての獣医学生において産業動物分野への関心を高めることを目的に、
 - 優れた大学の取組を横展開し産業動物分野の教育を拡充するための教員間及び農林水産省のネットワークを構築
 - 取組に改善の余地がある大学における低学年での牧場実習や3年生での産業動物獣医師の業務に関する講義の拡充

② 産業動物分野に興味がある獣医学生を就職まで結びつける取組

- 産業動物獣医師養成のための修学資金の給付
- 産業動物分野に関心がある学生を就職に結びつけるため、SKLV（南九州畜産獣医学拠点）などでの体験実習・家畜保健衛生所や家畜診療所などでのインターンシップの人数・内容の充実

Ⅱ. 就業後対策

① 働きやすい環境の整備

- 時間・距離・人的資源の制約を緩和し獣医療を効率的に行えるようにするためのデジタル技術を活用した**遠隔診療の導入推進**
- 育児等を理由に離職した女性獣医師等の復職や、他分野から産業動物分野への**転職の円滑化を支援**
- 各県における海外への職員派遣や博士号取得といった成長できる環境づくりなどの**優良事例を横展開**

② 処遇改善

- 各県における初任給調整手当の増額や獣医師専用俸給表の設定などの**優良事例を横展開**

③ 獣医療提供体制の強化が必要な地域への対応

- 獣医療法に基づき、令和2年度に策定した県計画（令和12年度目標）について、**獣医療提供体制の強化が必要な地域の洗い出し**を念頭に各県に中間評価を依頼し**実態把握を図るとともに、獣医療提供体制の強化が必要な地域への対応を各県とともに検討**